

第7回 日本新経絡医学会の開催のお知らせ

日本新経絡医学会会長 宇土 博

2011年7月3日に、日本新経絡医学会を創立いたしました。創立から6年が経過し、今年6月25日(日)に広島大学医学部広仁会館で第7回日本新経絡医学会の開催を迎えます。

本学会は、会員の交流を促進し、新経絡治療を始めとした代替医療—漢方、食事療法、福祉工学等—の学術的な充実、発展およびその普及を図り、難治性疼痛疾患、難治性疾患および学習障害・発達障害の予防・治療の進歩に資することにより、働く人々や地域の人々が生涯現役で活躍できるよう支援することを目的として設立されました。

この1年間を振り返りますと、2016年6月4日 高松での第70回日本東洋医学会のシンポ「伝統医学 未知の領域」で、新経絡治療の発達障害および腰部脊柱管狭窄症の治療効果を発表しました。そして、同年9月4日 福岡大病院での第10回ケア・ワークモデル研究会学術総会で新経絡治療の特別講演を行い、何れも大きな反響を呼びました。

12月23日 東北大学医学部での第20回日本統合医療学会で、茂原先生の座長で、「エネルギー医学として新経絡治療の特徴と整形外科、皮膚科、精神科領域の疾患への応用をめぐって」のシンポで、難治性運動器障害、軽度外傷性脳損傷の治療(三橋 徹・田島診療所)、皮膚科診療と新経絡治療例(平郡 恵子・キョセ北口皮フ科)、発達障害に対する新経絡治療の効果(宇土 博)が発表されました。これは、他学会での本格的なシンポで、反響を呼びました。シンポ後半では、参加者が新経絡治療を実践し、会場は熱気に包まれました。



統合医療学会シンポ



日本新経絡医学会IN山形

日本統合医療学会は、1980年代後半にアンドルー・ワイル教授らの提唱により米国で起こった統合医療の潮流の中で発足した学会です。「対症療法」を中心の近代西洋医学と、人間の心身全体を診る「原因療法」を中心の伝統医学や相補・代替医療を統合することを目指しています。われわれと立場を同じくする学会であり、今後も交流を行いたいと考えています。

12月24日には、山形の山川先生、金田先生、金田弘子氏のお世話で、日本新経絡医学会イン山形が行われました。40余名の参加者で、盛況でした。東北にも新経絡治療が根づ

くものと思われます。

6月11日 フィリピンのマニラで、現地から治療に来られた方のお世話で新経絡療法のセミナーを行いました。マニラでも、発達障害の問題があり、アジアにも新経絡治療を普及していきます。



マニラでの新経絡治療

11月3日 福祉事業のリラックス主催の「障害者の一般就労を目指す」企画・夢フェスタに参加、「発達障害に対する新経絡治療の効果—進学、就職に与える影響について—」を講演しました。今後も、就労支援団体との連携を行っていきます。



12月3日には、広島の木・エルゴ研究所で、12月18日には、沖縄統合医療学院で、新経絡治療のプレセミナーを行いました。今回の沖縄のプレセミナーは、高橋先生のお世話で、日本統合医療学会沖縄支部の主催で行われました。40余名の参加で盛況でした。沖縄の初級コースには、中島氏、山川氏の尽力で10名もの受講者が参加し、新経絡治療が沖縄で根付いてきています。

このように、新経絡治療は、この1年間で確実に国内および海外に普及してきており、喜ばしいことです。

また、学術研究として、**脊柱管狭窄症**への新経絡治療の研究が継続され、その成果が期待されます。また、今年度は、新しく「**レーザーによる井穴治療の血圧及び脈拍に対する影響**」の研究が開始され、その成果が期待されます。

今回で、6回目の新経絡治療の学術講演が行われます。新経絡治療の普及と同時に、学術的な基礎をしっかりと確立するため、会員の皆様の発表をお待ちしています。

今回の大会では、記念講演1として「**学習障害、発達障害の予防と新経絡治療—ADHD・注意欠如多動性障害を中心に—**」と題し会長講演を行います。ADHDの子供さんは、落ち着くことができない「多動」、1つに集中できない「集中困難」、待てない、せっかちであるといった「衝動性」が大きな特徴があり、日常生活や学校生活で多くの困難を抱えています。今回は、ADHDに対する新経絡治療の効果について講演いたします。

記念講演2では、日本統合医療学会の生みの親であり、日本統合医療学会の名誉理事長である**渥美和彦**先生をお招きし「**これからの医療**」と題して講演を行います。今回の講演は、茂原先生のご尽力で実現しました。先生は、東京大学医学部を卒業後、心臓外科を専攻、人工臓器、レーザー治療、サーモグラフィ、電子カルテなど最先端医療の研究に従事され、人工心臓のヤギの長期生存世界記録を作られたことで知られています。(渥美和彦記念財団 未来健康共生社会研究会) 先生は、近代医療に限界を感じ、代替医療に積極的に

取り組まれ、「これからますます多様な価値観やニーズが求められる医療において、肉体以外にも心の問題や家族、社会関係の問題解決のためには、「予防と健康」を考え、対応できる新しい医療が必要」と述べられておられます。記念講演では、これからの統合医療の目指す方向についてお話しいただけると期待しています。

講演後には、渥美先生を囲んで、「統合医療に関するミニシンポ」を企画しています。多くの会員、市民の方の参加を呼び掛けます。

これらの講演は、一般参加者にも公開されますので関心のある方の参加を呼び掛けます。

今年度も、総会前日の 2016 年 6 月 24 日（土）18:00-20:00 にウド・エルゴ研究所で、ブレ企画に、「**新経絡治療 ブラッシュ・アップ・セミナー**」を行います。これは、これまで主に新経絡治療セミナーを受講された方を対象に、ブラッシュ・アップための実践的なセミナーです。1 昨年に、この企画を開始し、昨年も 30 名以上が参加され大変好評でした。日頃の疑問などにも、お答えするフリー企画ですので、是非参加下さい。

懇親会では、我国でも大きな潮流になっている「糖質制限」をブラッシュ・アップした広島発のフランス料理とお酒、ワインを用意しております、是非ご堪能下さい。皆様の参加を心からお待ちしています。

2017 年 6 月吉日

第7回日本新経絡医学会の開催要領

日時 2017年6月25日(日) 9:00-15:30(懇親会: 15:40-17:40)

場所 広島大学医学部 広仁会館 小会議室、中会議室、大会議室

日程表 総合司会: 書記: 福田 悦子 写真班: 福永 道洋

時刻	企画	会場
9:00-10:00	第7回理事会 司会	1F 中会議室
10:00-10:10	開会式 開会あいさつ 宇土 博、	2F 大会議室
10:10-10:23	演題1 「帯状疱疹後神経痛の症例について」 平郡 恵子(キョセ北口皮膚科) 座長	
10:23-10:36	演題2 「放射線治療科の外来で最近経験した症例 —帯状疱疹2例、放射線治療後の遅発性 皮膚炎1例の新経絡治療—」 三谷 昌弘(香川労災病院 放射線治療科) 座長	
10:36-10:49	演題3 「学習障害・発達障害に対する 新経絡治療の効果」 ブランランド 由衣(鍼灸院 BRANLAND) 座長	
10:49-11:02	演題4 「各病症の腹診と按腹法 ～リウマチ・癌・脳溢血・膝関節症など～」 杉山 平熙(すぎやま按腹鍼灸院) 座長	
11:02-11:15	演題5 「慢性便秘症に対する経絡療法の有効性」 田島 佐一郎(田島内科クリニック) 座長	
11:15-11:28	演題6 「私の新経絡治療経験」 春名 優樹(医療法人 はるなクリニック) 座長	
11:28-11:41	演題7 「頸髄損傷者の上肢痛に対する新経絡治療の 経験—麻痺側下肢から介入できた症例—」 倉橋 徹(米子東病院リハビリテーション科) 座長	
11:41-11:54	演題8 「化学物質過敏症に対する新経絡治療の効果」 白星 伸一(佛教大学 理学療法学科) 座長	

11:54-12:07	演題 9 「レーザーによる井穴治療の血液及び脈拍に対する影響」 桑原 寛明(友和クリニック 鍼灸師) 座長	
12:07-12:20	演題 10 「外反母趾による歩行時の疼痛、胼胝、魚の目等の軽減のために開発された鼻緒靴の効果に関する研究」 広島大学医学生 座長	
12:20-12:30	準備 (軽食配布)	
12:30-13:00	総 会 司会 2016 年度活動報告の承認 2016 年決算の承認、監査報告 桑原 寛明 2017 年度運営方針、予算の承認 次回理事会、総会日程、場所の承認	2F 大会議室
13:00-14:00	記念講演 1 「これからの医療」 講師 渥美 和彦 (日本統合医療学会 名誉理事) 座長	
14:00-14:10	準備	
14:10-15:00	記念講演 2 学習障害、発達障害の予防と新経路治療 —ADHD・注意欠如多動性障害を中心に— 講師 宇土 博 (友和クリニック) 座長	
15:00-15:30	「統合医療に関するミニシンポ」(予定)	
15:30-15:40	準備	
15:40-17:40	懇親会 乾杯 司会 閉会挨拶	1F 中会議室

<市民公開講座>

- ・「**これからの医療**」 講師 渥美 和彦（日本統合医療学会 名誉理事）
- ・**学習障害、発達障害の予防と新経絡治療—ADHD・注意欠如 多動性障害を中心に—**
講師 宇土 博（友和クリニック）

<シンポジウム>

- ・統合医療に関するミニシンポ

※上記2つの講演およびシンポジウムは、一般の方の参加が可能です。

一般参加者費用 1,000 円

<学会参加費> 学会員：2,000 円、当日会員：3,500 円

<懇親会参加費> 4,000 円（一般の当日参加も可能）

会場までの交通

JR（新幹線・山陽本線など）をご利用の方

JR 広島駅 (広島市)	大学病院 行き バス	広電バス(5号線)または 広島バス(26-1号(旭町)線)	約 20 分 ——→ 210 円	広島大学病院 (終点) 下車
JR 横川駅 (広島市)	大学病院 行き バス	広島バス (23・23-1号(横県)線)	約 40 分 ——→ 220 円	広島大学病院 (終点) 下車

※ 広島駅からタクシーの利用でも約 1,500 円程です。（行き先は「大学病院」で通じます。）

※ バス停は広島駅の南口にあります。

（新幹線口は北口になりますので在来線のホームを経由して南口に出ていただくと便利です。）

広島空港をご利用の方

広島空港 (三原市)	広島空港 リムジンバス (時刻表)	広島駅 新幹線口 行き	約 45 分 ——→ 1,300 円	JR 広島駅 (広島市)
---------------	-------------------------	-------------------	--------------------------	-----------------

広島駅より先は、上記の山陽本線の利用と同じです。

